

子ども医療の無償化求める 協会「基本方針通り推進を」

大阪市交渉

2024年度各地区総会



市交渉の様子＝3月21日、大阪市内

大阪市4地区(北部・東部・西部・南部)は3月21日、大阪市と懇談し、歯科口腔保健対策の充実や医療費助成制度の拡充などを要望した。協議には小澤力理事長、吉田裕志・富本昌之両副理事長、玉川尚美理事と事務局が参加した。

子ども医療費助成について、高槻市が4月から一部負担金を無償化したことを受け、市の検討状況を尋ねた。市は「高槻市の状況は把握している」としながらも、「無料化の考えはない」と回答した。協会は「市政運営の基本方針には無償化の推進が明記されており、回答と矛盾する」と指摘。「担当部局が基本方針に沿って検討していないことは大きな問題だ」と批判し、検討を求めた。

口腔保健事業について、認可外保育施設での歯科健診の実施を要望。市は「0～2歳児を含めると実施率は約60%だが、3歳児以降では99%に達している」と説明した。協会は3歳児以降の実施率の改善・充実に求めた。

協会では他の自治体と比べても受診率が低い実態を指摘し、かかりつけの歯科医院でも受診できるような改善を訴えた。他にマイナ保険証の取り扱いや生活保護指導など50項目を要望し、制度の改善・充実に求めた。

3歳児以降の実施率の高さを評価しつつ、0～2歳児の実施率引き上げに向けた市独自の財政措置の実施を求めた。

妊産婦歯科健診では市の制度が集団検診のみであることから、受診機会を保障するため個別検診の必要性を訴えた。市は「妊婦健診の実施率は92%であり、平日の妊婦教室には参加できない」との声を聞いている」と回答。協会は他の自治体と比べても受診率が低い実態を指摘し、かかりつけの歯科医院でも受診できるような改善を訴えた。他にマイナ保険証の取り扱いや生活保護指導など50項目を要望し、制度の改善・充実に求めた。

高槻市・子ども医療費 4月から窓口負担ゼロ

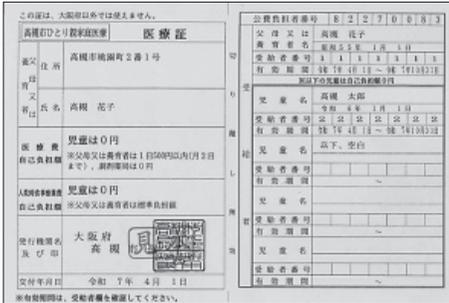
高槻市の子ども医療費助成制度およびひとり親家庭医療費助成制度の児童(0歳～18歳到達後の最初の3月31日までの子ども)にかかる一部負担額が4月から完全無償化となる。

高槻市の子ども医療費・ひとり親家庭医療証(左記を参照)を提示し、大阪府下の医療機関で受診した場合、窓口一部負担金が「0円」で、レセプトの患者負担額(公費)への記載も不要となる。府下では初めての取り扱いとなるため注意されたい。

【子ども医療証(藤色)】



【ひとり親家庭医療証(桃色)】



活動のまとめや方針を確認 記念講演も開催

記念講演も開催

協会各地区は総会を開き、24年度活動・決算報告と25年度方針・予算提案を承認し、役員体制を決めた。総会後は記念講演を開催。概要を紹介する。

大阪市 北部・東部地区

大阪市北部地区は3月22日、市内で地区総会を開き2025・26年度活

動方針や役員体制など5議案を審議し可決した。活動まとめでは物価高騰に苦しむ医療機関の声を大阪市会へ届け、物価高騰支援金の給付を実現したことを報告した。地区責任者に松本博氏(淀川区)を再任したほか、評議員8人・地区役員2人の役



講演する山本氏＝3月22日、M&Dホール

員体制を決めた。大阪市東部地区は3月22日に地区総会を開き、全議案賛成多数で可決した。地区の取り組みの特色としてLINEを使った地区ニュースの配信を始めたことなどを紹介。参加者からは魅力的な地区講習会を開催するために講師料規定の改定を要望などが出された。

北部・東部地区は共同で記念講演を開いた。「成功する根管治療のための検査・診断と治療計画」をテーマに、宝塚市開業の山本信一氏が講師を務め、32人が参加した。

北河内地区



講演する尾内氏＝3月23日、大阪市内

協会北河内地区は3月23日に総会を開き、10人が参加した。

総会では、総括・方針、決算・予算、役員提案など、全ての議案が採決された。冒頭、富本昌之副理事長が挨拶に立ち、協会活動への協力のお礼を述べ、新会館建設

事業の進捗状況と募金のお願いや保険でよい歯科を目指す活動等、引き続き協会活動への協力を求めた。

記念講演では「医院トランスフォーメーション」をテーマに元保険医療協会事務局長の尾内康彦氏が講師を務めた。尾内氏は、自身が受けた何千もの相談実績に基づき実例をいくつか紹介した。近年増える「個人的な感想による医院批判の書き込み」に対しては、「口コミを放置せずに、オーナーからの返答機能等を活用して、自院の誠実な診療姿勢を積極的に示して反論することも必要」など、具体的な対応を話した。

堺・高石・和泉地区

堺・高石・和泉地区は3月29日、総会と記念講演を開催し、28人が参加した。

総会では24年度活動のまとめとして、口腔保健事業の拡充を求め議案への要請を実施したことなどを報告した。25年度の活動方針では、文化企画の実施や地区ニュースの充実した発行などに取り組むことを確認した。

「口腔機能低下症の診断・管理」と題し、中央区開業の林宏和氏が講師を務めた。林氏は口腔機能低下症の診断・算定に必要な機器を紹介し、患者さんへの啓発や検査における説明方法を解説した。林氏は「患者さんの口腔状態はその方の日常生活と相互に作用している」と説明し、ICF(国際生活機能分類)の活用で生活機能と背景因子を分析し、生活の変化や目標設定をすることで口腔内の健康を目指すことを勧めた。口腔機能が低下した患者さんの立場に立った体験実習や質疑応答も交え、参加者から好評を得た。



患者側が目をつむり感覚が鈍い状態で水を飲まされる実習の様子＝3月29日、堺市内

休業保障制度 保険医年金 新規ご紹介キャンペーン

今だけ！お得な紹介キャンペーン実施中！

ご家族やご友人、お知り合いに「休業保障制度」「保険医年金」をご紹介いただくと、紹介者・被紹介者それぞれにQUOカード5,000円分をプレゼント！

キャンペーン概要

- 【期間】2025年4月1日～2025年6月15日
- 【対象】キャンペーン期間中にご紹介いただき、被紹介者が「休業保障制度」「保険医年金」に新規加入された場合
- 【特典】紹介者：QUOカード5,000円分プレゼント
被紹介者：QUOカード5,000円分プレゼント

キャンペーンの流れ

- ご家族やご友人に休業保障制度、保険医年金をご紹介
- 被紹介者が保険に新規加入
- 紹介者・被紹介者それぞれにQUOカード5,000円分をプレゼント！



お申し込み・お問い合わせ 大阪府歯科保険医協会共済部 (06-6568-7438) までお問い合わせください。本キャンペーンは予告なく終了する場合がございます。※特典の進呈は条件を満たした方に限ります。